



No.242

2016年1月号

図書館だより

鹿嶋市立中央図書館 TEL: 0299-83-2510

大野分館 TEL: 0299-69-1114

<http://opac.city.kashima.ibaraki.jp/>

少しずつ初日を浴びる図書館の本たちゆっくり深呼吸する 羽子板のつく音清し新年の空に響けるむくろじの実

◆新年のあいさつ◆

榎本麻央

明けましておめでとうございます。

いつも図書館をご利用いただきましてありがとうございます。昨年は、中央図書館開館30周年の年でありまして、記念事業を開催させていただきました。具体的には、「古典文学鑑賞講座」の講師をお願いしている布浦万代さんと、清真学園高等学校の卒業生であります、額賀澪さんをお迎えして、それぞれ講演会を開催させていただきました。また、図書館30周年のあゆみ展や、図書館で読み聞かせなどのボランティアをされている団体紹介、発行物の展示などを行い多くの方に足を運んでいただきました。

また、昨年内の取組として「図書館ボランティア養成講座」も行っており、受講生の方々には、これからの図書館活動参画の一助となっただけだと考えております。

図書館は、本年も職員と共にサービスの充実に努めていこうと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

中央図書館長 佐藤 由起子

1月(睦月)

日	月	火	水	木	金	土
年始の休館は、1/4まで 1/5は、中央館・大野分館とも10時開館					1/1 Ⓚ	2 Ⓚ
3 Ⓚ	4 Ⓚ	5	6	7	8	9 中央館 11:00~ 大野分館 13:30~14:00~
10 大野分館 14:00~ Ⓚ	11 Ⓚ	12 中央館 大野分館 Ⓚ	13	14	15	16 中央館 11:00~ 大野分館 11:00~ 中央館 16:00~ Ⓚ
17	18 Ⓚ	19	20 中央館 14:30~ Ⓚ	21	22	23 大野分館 14:00~ Ⓚ
24/31	25 Ⓚ	26	27	28	29 月末休館日 Ⓚ	30

Ⓚ = 中央館
大野分館とも休館

📖 = 読書リサイクルの日

📄 = かみしばい

📽 = 子ども映画会
大野シネマ館

👥 = おはなし会
読み聞かせの会



🐉 = 鹿嶋の民話

私のおすすめの一冊

『えーえんとくちから』 笹井宏之作品集

笹井 宏之:著 パルコエンタテインメント事業部:出版 (911.1/サ)

10代の終わりに口語短歌に出会って以来、沢山の歌にときどきさせて貰ってきたけれど、笹井宏之の登場は、私にとって、ちょっとした事件だった。この人の作品を初めて見た時、不思議にも指先がしびれた。けれど当時、肝心の作者が不明で懸命に調べた覚えがある。やっと探し当てた時、彼はもうここにはいなかったのだけど(療養生活後2009年に26歳で夭折された)。

表題の短歌、「えーえんとくちからえーえんとくちから永遠解く力を下さい」。上の句では「エーエンと口から」泣き声が繰り返され、けれど下の句では、その泣き声こそが「永遠解く力」へと逆転されている。一首の中で作者は、実人生をかけた、たった一度の大きなジャンプを試みたのだろう。同じ言葉が三度も繰り返されていて、これはもう、歌自体が呪文なのかもしれない。眼差しがいたいだけで、かなしみにも光がはしる、反射、まぶしい、私、このひとの歌を口ずさむ時は、いつも太陽が多めにあたっているような気がする。

笹井さんがいなくなって、きつともう容赦なく、一度目のお別れは済まされてしまった。それでも、私がいなくなる日まで、二度目のお別れは来ない。だから、会いたくなったらもう何回でも本を開いて会いに行こうと思う。そういう風に続いていくものが、私にとっての「永遠解く力」なんだって、思ったりする。

(大野分館 内山紗也香)



中央図書館 1月の特設コーナー

成人・卒業…新たな一步を踏み出した
フレッシュなあなたに

若い人に贈る 読書のすすめ 2016

「若い人に贈る読書のすすめ」コーナーは、成人式・卒業式など新たな人生の一步を踏み出す若い人にぜひ読んでもらいたい本を紹介します。みずみずしいあなたに贈る「本との出会い」のコーナーです。豊かな感性、好奇心、柔軟な思考に活きた文章をプラス！！下記はほんの一部の紹介です。特設コーナーへぜひどうぞ。



『あつ!命の授業』
ゴルゴ松本/著

『不動の魂』
五郎丸歩/著



『哲学用語図鑑』
田中正人/著



新着図書のご案内

ホームページの『おすすめコーナー』でも、毎週、**新刊案内**をお届けしています。ぜひ、ご覧ください。

小説

『月のない夜に』(913.6/キ)

岸田 るり子 著

故郷に残してきた双子の妹・冬花が殺人罪で逮捕された。被害者は、冬花の高校時代の同級生だった川井喜代。引き離れたはずの二人はどこで再び繋がったのか。冬花の姉である月光は杉田とともに解明に乗り出す。成功者となった喜代の疑惑と悪行が次第に浮かびがる。

総記

『小泉今日子書評集』(019/コ)

小泉 今日子 著

小説、ノンフィクションからコミック、ベストセラーや話題の本など、小泉今日子の感性が掬い上げた本たちを独自の視点で紹介する一冊。読売新聞読書欄に2005年から2014年まで掲載された97本の書評はブックガイドとしてだけでなく、一人の女性の歩んだ10年を垣間見ることもできる。

政治

『がちナショナリズム』(S/311/カ)

香山 リカ 著

右傾化の萌芽か、と前著で筆者が危惧してから13年。「愛国ごっこ」は「ごっこ」ではなくなり、恐れていたことが現実のものとなってしまった。安倍内閣、ヘイトスピーチ、安保改正、そしていわゆる「ネトウヨ」と呼ばれる人々の変質。現代日本の掲げる「愛国」の現状と行き着く先を分析する。

今月の

おすすめAV



CD 『火花』 (D41/ツ) 大野分館 所蔵

朗読: 堤 真一 / 原作: 又吉 直樹

『火花』は、売れない若手芸人「徳永」と天才肌の先輩芸人「神谷」が、夢を追いかける日々を通して「笑い」とは何か、“人間が生きるとは何なのか”を模索していく青春小説です。第153回芥川賞受賞作であり、単行本発行部数歴代1位ともなった今作が、俳優・堤真一の朗読によりCD化されました。

かなりの話題作なので興味はあるものの、様々な理由で、文字を追うのが困難な状態にある利用者の方もいらっしゃると思うので、文字の代わりに音声で読めるようCD版をご用意してみました。ぜひ「本を耳で読む」体験を試してみてください。



『ミニオンズ』(K/933/ミ)

しげ や まさ こ ちよ
渋谷 正子 著

なぞの黄色い生物、ミニオンたちの生きがいは、その時代の最強最悪なボスの仲間になること。しかし、なぜか彼らのボスは長生きできない。いつしか仕えることのできるボスはいなくなっていた…生きる目的を失いつつある仲間を救うべく、三人のミニオンが冒険の旅に出る。



『ニュートリノってナンド?』(429/ア)

あらふね よしたか
荒船 良孝 著

2015年、梶田隆章博士がニュートリノ振動の発見によってノーベル物理学賞を受賞した。ニュートリノって一体何? カミオカンデとスーパーカミオカンデの観測からわかったこと、ニュートリノ振動の発見が宇宙研究に及ぼす影響などをわかりやすく解説。

こんにちは♪ 大野分館です。 

★1・2月の特設コーナー★

大野分館子どもイベントコーナーは『さるのなかま』、一般向けイベントコーナーは『リーガルサスペンス特集』です。ぜひ大野分館へお越しください♪

♪行事のお知らせ♪

●おはなし会 大野分館 おはなしのへや
1月 9日(土)14:00～

●大野シネマ館 大野ふれあいセンター2階 AV室
1月10日(日)14:00～ 『フォーエヴァー・ヤング』(102分)
主演 メル・ギブソン

●読みきかせの会 大野分館 おはなしのへや
1月16日(土)11:00～

●子ども映画会 大野ふれあいセンター2階 AV室
1月23日(日)14:00～ 『名作童話大全集1 一休さん 他』(32分)

雑誌リサイクル
1/12(火) 10時～

～次の雑誌リサイクル・図書館だよりの発行は、2月2日(火)予定です。～